

令和8(2026)年度 編入学・転入学試験  
面接試験 出題意図

面接試験では、本学での学びに対する理解・意欲・適性を多面的に評価するため、以下の5項目を面接で問う。

- ①志望動機（大学選択・専攻選択）
- ②大学生活に対する抱負（意欲）
- ③社会的関心・個人的関心（関心・技能）
- ④将来についての展望（志向性）
- ⑤面接態度の評価（態度・表現）

また、各項目の出題意図は次のとおり。

- ①志望動機（大学選択・専攻選択）
  - ・十分な情報収集と自己分析による大学・専攻選択となっているかを評価する。
  - ・学問的関心やキャリア展望について、大学の教育理念やカリキュラムとの整合性を評価する。
  - ・目的意識に基づいた進路選択がなされているかを評価する。
- ②大学生活に対する抱負（意欲）
  - ・学びに対する主体性や積極性を評価する。
  - ・学業に加え、課外活動や人間関係への積極的な関与姿勢を評価する。
  - ・自己成長への意欲と、大学コミュニティへの積極的な関与姿勢を評価する。
- ③社会的関心・個人的関心（関心・技能）
  - ・社会課題への関心と、広い視野を有しているかを評価する。
  - ・これまでの経験や技能が、今後の学びにどう活かされるのかを確認する。
  - ・学問と社会との接点に対する理解と関心の深さを評価する。
- ④将来についての展望（志向性）
  - ・中長期的なキャリアビジョンや人生設計の具体性を評価する。
  - ・大学での学びがその展望にどう結びついているかを評価する。
  - ・変化に対する柔軟性と、自己実現に向けた主体的な志向性を評価する。
- ⑤面接態度の評価（態度・表現）
  - ・対人関係能力や誠実さを含む人物面を総合的に評価する。
  - ・非言語的要素（表情、姿勢、声のトーンなど）も含めた印象を評価する。
  - ・面接場面における準備の程度と、状況への適応力を評価する。

以上